

事故報告

報告日：平成 25 年 3 月 22 日

対象者：鶴田早亨様 28 歳 男性

事故内容：無断外出・無錢飲食・窒息

第一発見者：SY

管理者報告：10:18

10:00 前後の職員の状況

『早番：GT　日勤：HR 管理者(保護者面談)、SY、TM、HS、HR、IN、KMチ、IS(保護者面談)、IK(作業所)、KM(作業所)、TK(歯科診察)』

6:00 起床し、M棟廊下にて朝食の時間まで過ごされる。

7:20 食堂に移動し投薬席にて 7:30 より職員の介助にて小鉢に一口ずつ提供し朝食(パン食)を摂取する。盜食なく落ち着いて全量摂取する。その後、食堂の席に座って過ごされ 8:00 M棟へ入り介助にて歯磨きを行い、M棟廊下にて落ち着いて過ごされる。

9:00 SY 支、作業所送迎へ向かう。GT 支(早番)、TM 支、M棟へ行き施設内で過ごされる利用者様の検温を行う。鶴田様は洗面所前廊下に座っておられ検温を TM 支が行う。

9:20 M棟の鶴田様はじめ利用者様を TM 支が共用部へ誘導する。その後、TM 支が他利用者様を誘導している際に鶴田様は天使の扉(事務所横の扉、以下天使の扉で統一)前行かれたため F 棟対応している女性職員が声かけし共用部に誘導する。

9:25 作業所送迎より SY 支が戻る。9:25～共用部の食堂、作業室にて SY 支、TM 支、GT 支、HS 支、HR 支、IN 支、KM チ支の対応で鶴田様含め男女ともに指先運動をはじめる。鶴田様は KM チ支が食堂に誘導しゴム通しを提供し行う。座って行うもすぐに立ち上がり天使の扉前に行かれるため声掛けし、食堂に誘導する。

9:30 鶴田様が食堂で失禁したため、TM 支が M 棟へ誘導し着替えを行う。その後、食堂に誘導し指先運動の続きをを行う。すぐに立ってしまった為、その後はリズム運動で食堂を TM 支、SY 支見守りの中歩く。その後、SY 支と共に作業室に行きマット運動で SY 支が介助し前転を行う。その後、リズム運動で食堂を一周歩き、その後、SY 支と共にマット運動を行う。その後、他利用者様の指先運動をしている TM 支、SY 支、KM チ支の見守りの中、リズム運動で食堂を歩く。その後、席に誘導しコイン入れを始めるが、すぐに席を立ち、天使の扉前に行かれ職員の声掛けで戻られる。その後もリズム運動で食堂を歩き、天使の扉前に行かれ声掛けし食堂に戻りリズム運動で歩くという行動を繰り返す。SY 支、男性利用者様の指先運動の対応をする。TM 支、男性利用者様の指先運動の対応をする。HS 支、女性利用者様の指先運動の対応をする。HR 支、女性利用者様の指先運動の対応をす



- る。KM支、男性女性利用者様の指先運動の対応をする。GT支、利用者様の指先運動を対応する。作業室ではIN支がショート利用者様の対応をしていた。
- 9:50 SY支は鶴田様の姿を確認。その際に靴下を履いていないのを確認する。9:30に失禁し着替えているが、靴下を履いていなかった。普段から靴下を履いてもすぐにぬいでしまい手に持ってしまっていたが、手にも持っていないため、鶴田様、他利用者様の指先運動の対応が落ち着いてから、鶴田様の靴下を取りに行く。その時点で10:00。KM支は指先運動の対応。TM支は指先運動、男性利用者様のトイレ誘導の対応、HS支、HR支は女性利用者様の指先運動の対応、トイレ誘導を対応。
- 10:00 SY支がM棟へ靴下を取りに行き共用部に戻ると共用部に鶴田様の姿が見当たらないため、共用部HR支、TM支、KM支で搜索。M棟SY支、GT支、F棟IN支が搜索する。
- 10:15 施設内では確認出来なかつたため、SY支がセブンイレブンに捜索しにいく。(以前に散歩中、公園に行った際にセブンイレブンに入ったことがあったので、外部にてたのであればセブンイレブンに行かれる可能性が高いと思い)その際、IS支に鶴田様の姿が見えないため、外部に探しに行くことを報告する。
IS支が再度M棟内を捜索する。
SY支がセブンイレブン内を捜索するが鶴田様の姿はない。
- 10:18 IS支より管理者へ鶴田様の姿が見えないことを報告する。
IS支よりIN支・HS支・YN支・HR支で外部の捜索をするよう指示する。
- 10:23 スーパーより鶴田様がスーパー内のテナントにて無錢飲食し、ドーナツを詰まらせ意識がない状態であること・救急要請をした旨のTELがある。すぐに職員を向かわせる旨を伝える。(総務H対応)
- 10:24 スーパーより再度、TEL。本人の既往歴を聞かれる。てんかん発作を持っていること・現在、職員がスーパーオーに向かっている最中であることを伝える。(IS支対応)
IN支・管理者がスーパーオーに向かう。
HR支より、SY支へTEL。スーパーで見つかったことを報告する。
SY支がスーパーオーに向かうこととなる。
- 10:27 SY支・IN支がスーパーオーに到着する。
管理者がスーパーオーに到着する。本人意識なく倒れており救急隊員が心肺蘇生などの対応をしている。
- 10:27 IS支より保護者(原告)へ連絡。不在。
- 10:28 IS支より保護者(叔母)へ連絡。Hを無断外出してしまったこと・スーパーでドーナツを食べて窒息してしまったこと・現在救急車を要請した所との連絡が入ったことを伝え、病院へ行ってもらうことになる可能性が高いため、準備をしておいて欲しい旨伝える。
- 10:35 保護者(原告)よりTEL。叔母へ伝えたことと同様のことを伝え、伯母にも連絡済みで

あることを伝える。(IS 支対応)

- 10:40 理事長・総務HT スーパーに到着。(以下理事長とHT) スーパー中央のコーナーコーナー付近に行くとドーナツの吐いたものと思しきものが散らばっていた。その清掃を申し出るも スーパー店長の好意によりスーパーが片付けて下さっていた。 テナント ■に行き、様子を伺った。はじめ店員は気付かなかつたが、お客様が「誰かがドーナツを取って食べている」と知らせてくれたので分かつたが、誰も止める事は出来なかつた。という事であった。

救急車、スーパーを出発。(救急隊に確認し管理者・SY 支同乗)

理事長、総務HT、IN 支は H に戻る。

- 10:50 理事長が安城市役所障害福祉課課長席へ。報告内容は以下()内。
(まだ正確な時間は定かではないが、10時頃に本人の所在不明がわかり、職員が直ちにコンビニ等を探していた所、スーパーからドーナツを詰まらせて倒れているので、救急車を呼んだとの電話があった。現在は更生病院に搬送された。保護者にも連絡はしたが、今現在病院に到着されているか否かは分からぬ。時間的に病院に向かっている途中かもしれない。気道は、確保された。)

IS 支より、保護者原告へTEL。安城更生病院へ搬送されたこと・現在気道は確保できたが意識不明であること・更生病院救急にいってほしい旨伝える。保護者原告より、叔母にも H からTELしてほしいとのこと。

IS 支より、保護者(叔母)へTEL。原告に伝えたことと同様のことを伝え、原告にも連絡したことを伝える。

- 10:53 救急車、安城更生病院着。医師より、保護者の方はまだなのかなの確認があり、まだであることを伝え、HR:管理者、SY 支は家族待合室にて待機することとなる。

- 11:00 理事長・総務HT、再度スーパーへ行く。(以下理事長とHT) テナント 店長にお詫びをする。どのくらい食べたか分からぬとのことだったので、代金として5000円お渡しした。

スーパー 店長にお詫びをし、再度様子を伺う。お客様の中に看護師さんがいらっしゃり、救急車が来るまで見えていて下さったが、その時点で心臓停止している状態のことだった。その看護師さんは名前も言わず帰られたという。どなたか分かったらお教えくださいようお願いした。現在の様子は気道確保出来ている状態である事をお知らせし帰所。

- 11:15 病院に原告の友人が到着する。

- 11:20 保護者(叔母、祖母)到着。救急の中に入り本人の様子を確認する。

- 11:30 病院に保護者(原告)が到着する。

- 11:50 SY 支、H に戻る。

- 12:00 保護者に承諾をもらい、家族と一緒にDrの説明を聞く。

Drより物が喉に詰まった状態で病院に運ばれて来た。心停止でもありすぐに蘇生処



置を行いましたが低酸素になってからの状態が長かった為、脳にダメージを受けています。

若いので自発呼吸はあるが、再度心停止状態になった時に、心マッサージ、人工呼吸器をつけ生きてもらう方法もありますが、鶴田様にとって大変苦しい状況になると思います。延命処置となりますか。それともとりませんか。

叔母：これは原告が決める事。私、おばあさんで決める事ではない。

原告：何もしないでいいです。

12:40 市役所係長からTEL。理事長が対応。内容は以下〇内。

(再度医師より家族に説明があった。万が一、心停止した場合どうするかと言う医師の問い合わせに保護者は延命は希望をしないと答えた。もうすぐICUに移る状況である。)

IS支より、管理者へTEL。管理者より、再度Drからの説明があり、現状人工呼吸器を付けた状態で、保護者が延命治療は止めてほしいとDrに伝えたとのこと。

13:30 総務HTより(孫)へTEL。天使のドアの開閉について、更に安全確保が出来るようにアイデアをだして欲しいと依頼。

13:30 SY支、病院へ到着し、保護者(原告、叔母、祖母)、SY支、HR管理者で看護師より入院の説明を受ける。鶴田様はICUに入院する。

14:00 保護者(原告、叔母、祖母)でICUにて面会する。その後、HR管理者へ戻る。
市役所係長からTEL。理事長が対応。内容は以下〇内。

(何時に所在不明になったのですか？10時過ぎです。とお答えした。)

14:40 ICUから出てきた、伯母より本人の状況の説明がある。現在は人工呼吸器は取れ自力で呼吸はしているとのこと。今までは脳が大きくなる可能性があるので、土日で峠が来るかもしれないとの事。土日を乗り越えても脳は死んでいるので意識が戻る事はないとの事。その後も本人はICUで治療する。

14:50 市役所課長からTEL。理事長が対応。内容は以下〇内。

(保護者は何か言ってないですか？分かりませんが、今は現状や経緯を誠意を持って説明させて頂いている状態である。

警察は入ってないですね？はい。入っていません。とお答えした。)

14:55 県に経緯を報告するように理事長がHR管理者に指示する。

17:30 IS支、SY支が荷物を持ち、様子を見に行く。本人は9階の処置室に移動になっており、処置室で治療しており、伯母、原告、祖母、途中で来院された父とで本人を看ている。看護師よりDrより、土日が危険な状態になるのではないかとのこと。その後も保護者(原告、伯母、父、祖母)で対応する。SY支、IS支は退室する。

19:58 叔母より連絡あり、19:00に亡くなりました。

葬儀及び通夜は叔母の自宅である宅。

平成25年3月24日 供花をご自宅にお届けするよう理事長が総務ASに指示。聖清会

一同、聖清会 H 一同各一対。

平成 25 年 3 月 25 日 告別式 10:30~12:00

HR 管理者、IS 支、SY 支の 3 名で鶴田早亭様の葬儀に列席。

列席者は保護者原告 叔母、祖母、父)原告の友人 6 名

11:00 葬儀開始。

12:00 出棺。

備考

- ①当日、10 時までに 2 度、天使のドアから出ていこうとしていたので、IS 支援員が廊下側に誘導していた。
- ②日常的にドアの近くに立って外にでようとしていた。その都度支援員が誘導していた。

